

Combi

コンビ チャイルドシート ジョイトリップ アドバンス シリーズ

取扱説明書 品質保証書付

お子さまの安全のため、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

- 本書は座面カバー下の取扱説明書収納部に保管してください。
- 66ページの品質保証書に、必要事項をご記入ください。



お使い
いただく
前に

チャイルド
モードの
使いかた

ジュニア
モードの
使いかた

お手入れ・
その他

本製品は、UN R129/03において認可されたi-Sizeチャイルドシート/i-Sizeブースターシート/特定車両用ブースターシートです。

- ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。ただし、ISOFIX取付金具(バー)とトップテザーアンカーを装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書でISOFIXサイズクラスに適合しているか確認してください。
- ジュニアモードでは、UN R16 または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り適しています。

モード	お子さまの条件
チャイルドモード	身長：76cm～105cmまで かつ 月齢15ヵ月以上 ※体重20kgを超えるお子さまには使用できません。
ジュニアモード	身長：100cm～150cmまで



危険

お子さまが下記の条件を満たしていない場合は使用しないでください。
【チャイルドモード】身長76cm～身長105cmまでかつ月齢15ヵ月以上
(※体重20kgを超えるお子さまは、使用できません。)
【ジュニアモード】身長100cm～150cmまで



注意

お子さまの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1時間程度を目安に休憩をとってください。

もくじ

お使いいただく前に

お使いいただく前に	2
各部のなまえ	3
ご使用の条件	6
取り付けできる座席	7
車両シートベルトの種類と使用上の注意(シートベルト使用時)	8
取り付けできない座席	9
安全にお使いいただくために	11
組み立て	19

チャイルドモードの使いかた

取り付け準備	22
車への取り付けかた	24
取り付け完了チェックのしかた	30
車からの取りはずしかた	32
幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた	33
お子さまの座らせかた	35
お子さまのおろしかた	38

ジュニアモードの使いかた

ジュニアモードへの変更のしかた	39
取り付け準備	45
車への取り付けかた	46
お子さまの座らせかた	48
クッションベルトの使いかた	51
取り付け完了チェックのしかた	52
チャイルドモードへの戻しかた	53

お手入れ・その他

幌の使いかた	54
ヘッドクッションの使いかた	55
カバーの取りはずしかた・取り付けかた	56
収納モードへの変更のしかた	60
収納モードでの保管のしかた	62
収納モードでの持ち運びかた	63
お手入れのしかた	64
保管・廃棄のしかた	65
品質保証書	66
お問い合わせ先	裏表紙

お使いいただく前に

このたびは、コンビ チャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。





〈中古品のご使用について〉

- 使用履歴が不明な製品、特に事故歴の不明な製品は絶対に使用しないでください。
- ひび割れや大きな傷、止め金具のゆるみなどがある場合は、絶対に使用しないでください。衝突事故や製品の落下などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
 ワンポイント	チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

- ご使用前に、66ページの「品質保証書」に次の項目を記入してください。
 - ① 製品名とロットNo. (ヘッドガード裏側に貼ってあるシールに記載されています)
 - ② お客様のお名前・ご住所・電話番号
 - ③ 販売店名
- レシート(領収書)を本書といっしょに保管してください。

※ 本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

※ 製品により仕様が異なる場合があります。
また製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

お使いいただく前に

梱包内容

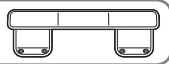
- 本体



- 肩ベルトカバー



- 腰ベルトカバー
(ジュニアモードでは「クッションベルト」としてご使用いただけます)



ジョイトリップ アドバンス プラス/プレミアム

- ヘッドクッション



- 幌



ジョイトリップ アドバンス
プレミアム

- ISOFIX キャップ



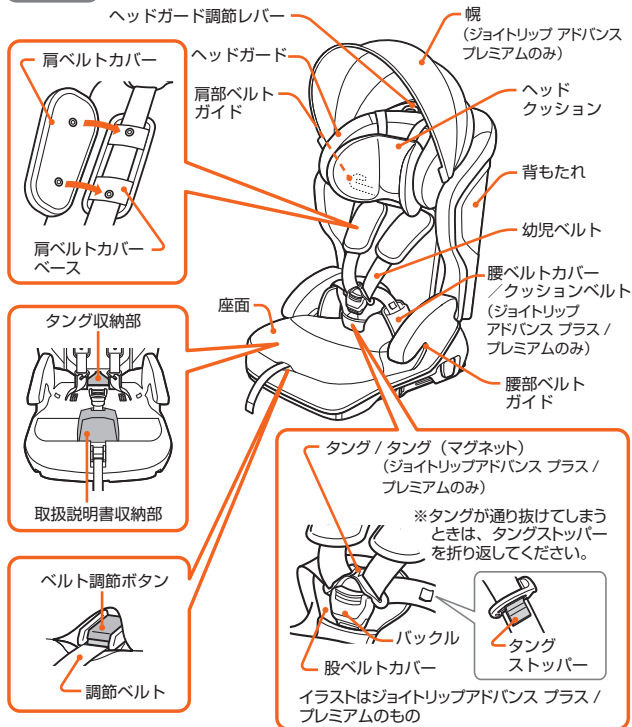
- 取扱説明書 (本書)



- お客様登録カード



正面



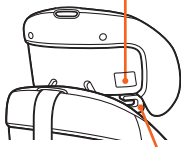
お使いいただく前に

各部のなまえ

背面

お使いいただく前に

ヘッドガード背面
ロット No.



肩部ベルトガイド

コネクター解除ボタン



コネクター調節レバー

ISOFIX コネクター

トップテザー

テザーベルト

テンショナー

トップテザー
フック

ご使用の条件

お子さまの身長に合わせて以下のモードで使用します。

モード	チャイルドモード	ジュニアモード	
使用状態	 <p>ヘッドクッション使用</p>		
条件	<p>身長 76cm ~ 105cm まで かつ 月齢 15 か月以上 (※体重 20kg を超えるお子さまは、使用できません。)</p>	<p>身長 100cm ~ 150cm まで</p>	
お子さまの拘束方法	<p>チャイルドシート of 幼児ベルトで お子さまを拘束します。</p>	<p>幼児ベルトを収納して、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。</p>	
チャイルドシートの車両への固定方法	<p>ISOFIX コネクターとトップテザーで車両座席に固定します。</p>	<p>ISOFIX コネクター、トップテザーとお子さまを拘束している車両シートベルトで車両座席に固定します。</p>	<p>ISOFIX コネクターとお子さまを拘束している車両シートベルトで車両座席に固定します。</p> <p>お子さまを拘束している車両シートを使用して車両座席に固定します。</p>

お使いいただく前に



危険

お子さまが下記の条件を満たしていない場合は使用しないでください。
 【チャイルドモード】身長 76cm ~ 身長 105cm までかつ月齢 15 か月以上(※体重 20kg を超えるお子さまは、使用できません。)
 【ジュニアモード】身長 100cm ~ 150cm まで

取り付けできる座席

ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。ただし、ISOFIX取付金具(バー)を装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。

ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書で下記のISOFIXサイズクラスに適合しているか確認してください。

車種適合につきましては下記のサイトにてご確認ください。

www.combi.co.jp/childseat/seat_search/

本製品のISOFIXサイズクラス

コンビ 適合



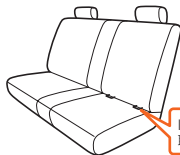
お子さまの身長	固定具
76cm ~ 105cm	F2X

お子さまの身長	固定具
100cm ~ 150cm	B2

チャイルドモード(身長:76cm ~ 105cm)で使用する場合

ISOFIX取付金具について

ISOFIX 取付金具とは、ISOFIXチャイルドシートを取り付けるために、車両背もたれと車両座面の間に装備された金具(バー)です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。



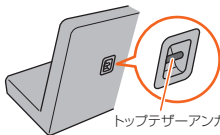
ISOFIX 取付金具

トップテザーアンカーについて

トップテザーアンカーとは、トップテザーフックを固定するために、車両に装備された金属(バー)です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。

※トップテザーアンカーの位置の例

<車両座席背面>



トップテザーアンカー

<ラゲッジスペース> <リアパーセルシェルフ>



<フロア>



<天井>



車両シートベルトの種類と使用上の注意(シートベルト使用時)

ジュニアモード(身長:100cm~150cm)で使用する場合

チャイルドシートは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。

本製品はUN R16 または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

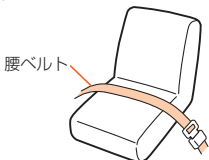


危険

- 必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
- 2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

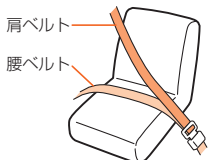
2点式シートベルトとは

図のように、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右2点で体を支えるシートベルトのこと。



3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



シートベルトの種類と特徴(見分けかた)	取り付け注意点
ELR ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。
AELR シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すとチャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	シートベルトを全て引き出すと危険です。 シートベルトを1度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取り付けてください。
その他 上記に当てはまらないシートベルト。	使用できません。

※ シートベルトの種類が不明な場合は、各自動車メーカーにお問い合わせください。

お使いいただく前に

取り付けできない座席

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合には使用しないでください。

※ 助手席への取り付けはエアバッグの有無に関わらずおすすめできませんので、車種適合調査は行っておりません。

●エアバッグ装備の座席。

… サイドエアバッグのみの場合には使用できません。



●進行方向に対して横向き、または後向き座席。



●極端なポケットシート。

… 座面の中央が深くへこんでいる座席。



●座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。



●車両ヘッドレストが極端に出っぱっている座席

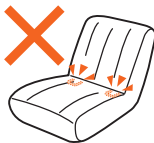
… 車両ヘッドレストの形状により、リクライニング操作やチャイルドシートのヘッドレスト調節操作ができない座席。

※ 車両ヘッドレストが 取りはずせる場合は、取りはずすことで操作が可能になれば、その座席でも取り付けできます。



※チャイルドモードでの使用時のみ

●ISOFIX取付金具(バー)、トップテザーアンカーが装備されていない座席。



- ※ジュニアモードでの使用時のみ
●車両シートベルトの付いていない座席。



- ※ジュニアモードでの使用時のみ
●2点式シートベルトの座席。



- ※ジュニアモードでの使用時のみ
●車両シートベルトの長さが極端に短い座席。



- ※ジュニアモードでの使用時のみ
●パッシブシートベルトの付いた座席。

※パッシブシートベルトとは
… 車両座席に座ってドアを閉めると、自動的に車両シートベルトを装着してくれる装置のこと。(オートマチックシートベルト)



- ※ジュニアモードでの使用時のみ
●車両シートベルトが座席の中間から出ている座席。

…チャイルドシートの腰部ベルトガイドの位置よりも、前方向からシートベルトが出ている座席。



安全にお使いいただくために

⚠危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

お使いいただく前に

- 使用条件に**適しない**お子さまや、**取り付けできない座席**などでは、**使用しないでください**。



- エアバッグ**装備の座席では、**チャイルドシートを使用しないでください**。
衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
…**サイドエアバッグ**の場合には使用できます。



- お子さまがチャイルドシートの上に**立ったり**、**中腰になったり**、**正座をしない**ように注意してください。

※**チャイルドモード**で**使用の場合**、**お子さまを座らせたときには**、**お子さまに股ベルトカバー**、**幼児ベルト**が正しく装着され、**左右のタング**がしっかりバックルに差し込まれ、**表示が緑色**に変わっていることを確認してください。



- チャイルドモード**で**使用の場合**、**本製品は車両シートベルト**で**固定することはできません**。

⚠ 危険

- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けしないでください。



- ジュニアモードで使用の場合、お子さまを座らせたとき、車両シートベルトの差込金具が車両バックルに正しく差し込まれており、はずれないことを確認してください。



お使いいただく前に

⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタンを押し、幼児ベルトをはずして、（ジュニアモードで使用の場合は車両シートベルトをはずして）すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。



安全にお使いいただくために



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お使いいただく前に

- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



- 製品の改造や不当な修理をしないでください。



- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けしないでください。緊急時の脱出のさまたげになります。



- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因になります。必ず保護者のかたが同乗してください。



- お子さまが座っていないときでも、ISOFIXコネクターおよびトップテザーフック(チャイルドモード使用時)または車両シートベルト(ジュニアモード使用時)で固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなる場合があります。



警告

- チャイルドモードで使用の場合、
幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



- チャイルドモードで使用の場合、おさまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。タンクがバックルからはずれていないことを確認してください。はずれていると本来の動きをせずさらにベルトが首に巻き付くおそれもあります。



- チャイルドモードで使用の場合、バックルにゴミ・飲食物などが詰まって確実に差し込めない場合または解除しにくい場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



- チャイルドモードで使用の場合、幼児ベルトに傷がついたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



安全にお使いいただくために



警告

●チャイルドモードで使用の場合、

タングを差し込む際はお子さまの手足や衣類をはさまないように注意してください。

※ジョイトリップアドバンス プラス/プレミアムのみ

●チャイルドモードで使用の場合、

タングの磁石がペースメーカーの作動に影響をおよぼすおそれがあります。ペースメーカーをご使用のお子さまを本製品に乗せないでください。

※ジョイトリップアドバンス プラス/プレミアムのみ

●チャイルドモードで使用の場合、

タングの磁石に異物が付着するおそれがあります。使用前に異物の付着がないこと確認してください。

※ジョイトリップアドバンス プラス/プレミアムのみ

●チャイルドモードで使用の場合、

磁気による損傷を受けやすいものはタングに近づけないでください。(磁気カード、腕時計、電子機器など)

●ジュニアモードで使用の場合、

車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けけないでください。

●ジュニアモードで使用の場合、

チャイルドシート固定機能付きシートベルトのときは、固定機能を動かさないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。



⚠️ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。

- チャイルドシートを車両のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。

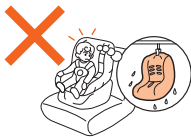


- 直射日光があたると、本体やタンクなどが熱くなり、お子さまがヤケドをするおそれがあります。お子さまを乗せる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。



- 座席の表皮素材（革など）や形状によっては、座席に傷や跡がつくおそれがあります。

- シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材ははずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります）



- 拘束や調節操作をする際、爪や付け爪が巻き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。



- お子さまを乗せた状態で、取り付け・取りはずし・持ち運びはしないでください。

安全にお使いいただくために

⚠ 注意

- 固定されていない物を車内に置く場合は急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがありますので、十分注意してください。



- 車両座席に、クッションや座布団などを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けしないでください。チャイルドシートがしっかりと固定されません。



- チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒してケガの原因となります。本書に記載されていない使いかたをしないでください。



- 走行中は、チャイルドシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。
- チャイルドシートを風雨にさらさないでください。
- 幼児ベルトを持ってチャイルドシートを持ち運びしないでください。

⚠ 日常の点検

チャイルドシートの本래の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

トップテザーのテンショナーのインジケーターが「緑色」になっていること

幼児ベルトがお子さまの体にフィットしていること

タングがしっかりとバックルに差し込まれ、差込表示が緑に変わっていること

チャイルドシートが車両両座席にしっかりと固定されていること(ベースを前後左右にゆすり、確認してください)

幼児ベルトが正しい位置に調節されていること

コネクター調節レバーのインジケーターがロック状態(「赤色」の表示が見えなくなっている状態)になっていること

ISOFIXコネクターが車両のISOFIX取付金具にしっかりと固定されていること

コネクター解除ボタンのインジケーターがロック状態(「緑色」の表示が見える状態)になっていること



- 幼児ベルトにねじれやたるみがないこと
- お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず**幼児腰ベルトを低く下**げること

お使いいただく前に

※イラストはチャイルドモードでの使用例

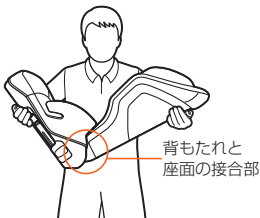
組み立て

工場出荷時、本製品は背もたれと座面がはずれた状態になっています。

お使いいただく前に

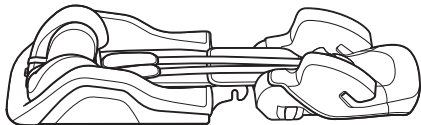


- 組み立てるときは、平らで柔らかい床の上で行ってください。製品の破損や床への傷つきを防ぎます。
- 組み立てるときは、周囲の人にも気をつけて指などはさまないように注意してください。
- 組み立てたチャイルドシートを持ち運ぶ場合は、図のように持ち、**背もたれと座面の接合部に指をはさまない**ように注意してください。
※組み立てたチャイルドシートの背もたれと座面は動きます
- ベルト類を、背もたれと座面の間にはさまないように注意してください。

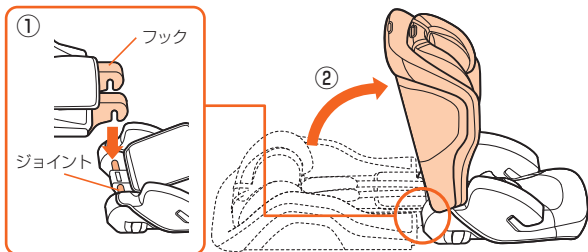


背もたれの取り付け

- 1 背もたれと座面を平らで柔らかい床の上に置く。



- 2** ① 背もたれのフックを座面のジョイントに合わせ押し込む。
 ② 合わせた状態で、背もたれが座面に当たるまでゆっくり起こす。
 ※起こす時に、2回突起を乗り越えます。(「背もたれの使用範囲」27ページ参照)



お使いいただく前に

背もたれの使用範囲

- ① 背もたれを水平に倒した状態から起こしていくと1つ目の突起部を乗り越えます。
 ② さらに起こすと2つ目の突起部を乗り越え、背もたれを自立させることができます。
 背もたれは、1つ目の突起を乗り越えたところから2つ目の突起を乗り越えたところの間で使用してください。

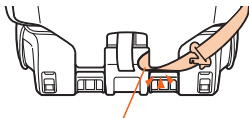


組み立て

お使いいただく前に

⚠
注意

必ず次の内容を確認してから使用してください。
チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。
幼児ベルトや調節ベルト、テザーベルトなどが背もたれと座面の接合部にはさまれていないことを確認してください。



幼児ベルトがはさまれている。

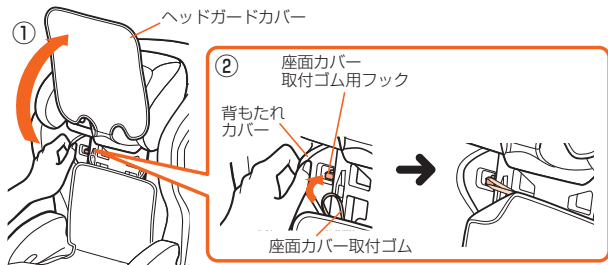


調節ベルトがはさまれている。

※取りはずしは、取り付けの逆の手順です。

座面カバー取付ゴムの取り付け

ヘッドガードカバーをめくり上げ、さらに背もたれカバーをめくり、左右2カ所の座面カバー取付ゴムを座面カバー取付ゴム用フックに取り付ける。
(背もたれカバーをめくらないと取付ゴム用フックは見えませんが)



※座面カバー取付ゴム用フックは、②のイラストのように背もたれカバーをめくったところにあります。(②のイラストは正面から見て左側となります)



- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- チャイルドモードでの使用時は車両シートベルトで固定することはできません。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

下記のサイトにて取扱説明動画を提供しておりますので、ご確認ください。

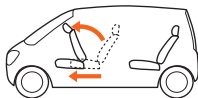
www.combi.co.jp/soudan/after/manual_dvd.html



- 1** ① 取り付け作業は、ドアの全開操作が可能な、平らな場所で行う。

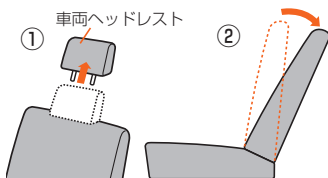


- ② 車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付ける。



取り付け準備

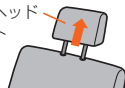
- 2** ① 車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずす。
※ 取りはずした車両ヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。
② 車両背もたれがリクライニングできる場合は、少し後方に倒す。



ワンポイント

- 車両ヘッドレストが取りはずせない場合は、1番上まで上げてください。

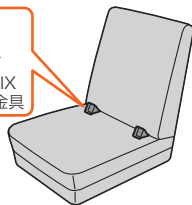
車両ヘッドレスト



ワンポイント

- 車種適合に「トップテザーは、車両ヘッドレストを付けた状態で取り付けてください」と表記があった場合は、車両ヘッドレストを可能な限り低い高さに調節し、車両ヘッドレストの上にテザーベルトを通して取り付けてください。

- 3** ISOFIXキャップをISOFIX取付金具に差し込む。



ワンポイント

- ISOFIX取付金具が車両座席にかくれて見えにくい場合は、付属のISOFIXキャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車両座席によっては取り付けるとチャイルドシート背面と車両背もたれのすき間が大きくなる場合があります。このような場合は、使用せずに取り付けてください。



車への取り付けかた

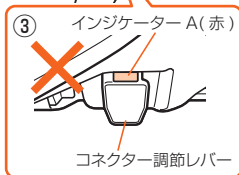
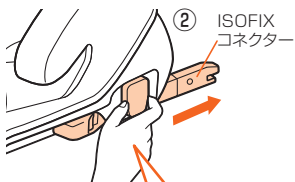
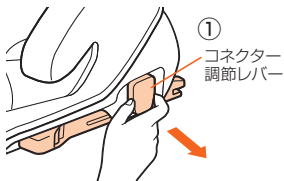


- 1** 本体を車両座席に置き、トップテザーフックとテンショナーを車両座席後方に出しておく。



- 2** ISOFIX コネクタを引き出す。

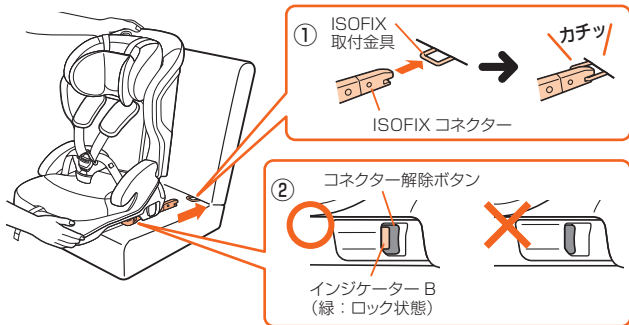
- ① 側面のコネクタ調節レバーを引きながら、
 - ② ISOFIX コネクタを最大まで押し出す。
 - ③ コネクタ調節レバーから手をはなし、インジケータ A がロック状態（「赤色」の表示が見えない状態）になっていることを確認する。
- ※ 左右それぞれ作業を行ってください。



車への取り付けかた

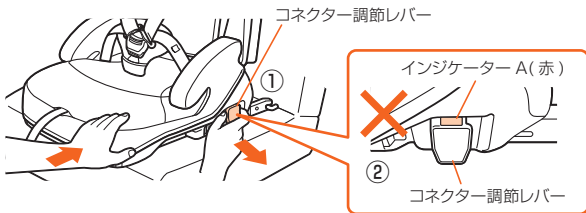
3 ISOFIX 取付金具に ISOFIX コネクターを取り付ける。

- ① 車両座席の左右 ISOFIX 取付金具に「カチッ」と音がするまで、それぞれ ISOFIX コネクターを差し込む。
- ② 左右のインジケーター B がロック状態（「緑色」の表示が見える状態）になっていることを確認する。



4 チャイルドシートの背面が車両背もたれに接するまで、座面を押し込む。

- ① コネクター調節レバーを引きながら、チャイルドシート背面が車両背もたれに接するまで左右片側ずつ座面を強く押し込む。強く押し込んだまま調節レバーをはなし、「カチッ」と音がするまでさらに押し込む。左右均等に車両背もたれに接するように調節する。
- ② 手をはなし、インジケーター A がロック状態(「赤色」の表示が見えない状態)になっていることを確認する。

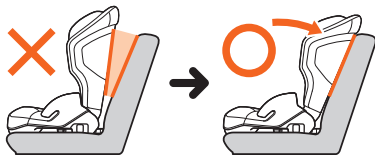


ワンポイント

- 座面を押し込む際は、左右で押し込み量の差が大きにならないよう確認しながら、調節してください。
- 車両によっては、しっかり押し込んでチャイルドシート背面と車両背もたれとの間にすき間が生じる場合があります。

車への取り付けかた

- 5 チャイルドシートと車両背もたれとの間に、すき間がなくなるように調節する。



車両背もたれがリクライニングできない場合は、チャイルドシートの背もたれの角度を調節し、車両座席とのすき間をなくす。

背もたれの使用範囲

- ① 背もたれを水平に倒した状態から起こしていくと1つ目の突起部を乗り越えます。
 - ② さらに起こすと2つ目の突起部を乗り越え、背もたれを自立させることができます。
- 背もたれは、1つ目の突起を乗り越えたところから2つ目の突起を乗り越えたところの間で使用してください。

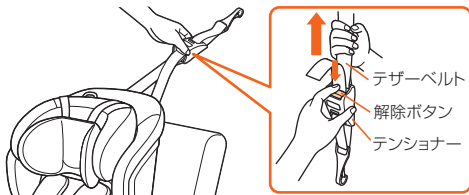


- 車両背もたれがリクライニングできる場合は、チャイルドシートの背もたれが「背もたれの使用範囲」の角度になるように調節してください。「背もたれの使用範囲」より倒れた状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。

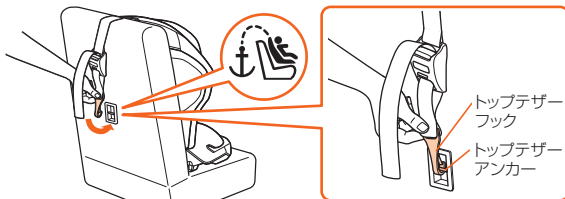


- チャイルドシートと車両背もたれのすき間が極端に空いた状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。

6 テンショナーの解除ボタンを押しながらテザーベルトを引き、ゆるめる。



7 トップテザーアンカーにトップテザーフックを固定する。
※イラストはトップテザーアンカーが車両座席の背面にある場合



ワンポイント



トップテザーアンカーの位置は車種によって異なります。トップテザーフック取り付けの詳細については車両の取扱説明書をよくお読みください。

※車両座席の背面以外のトップテザーアンカー位置の例

<ラゲージスペース>



<リアパーセルシェルフ>



<フロア>



<天井>



車への取り付けかた

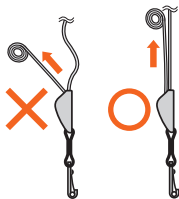
- 8 テンショナーのインジケーターが「緑色」になるまでテザーベルトを引き、強く締める。



ワンポイント



- テザーベルトを引く方向は、トップテザーアンカーの位置によって異なります。テザーベルトが平行になるように引いてください。
- 車両座席の後ろにまわれる場合は、テザーベルトのテンショナーに近い位置を持って強く引いてください。
- 車両座席のリクライニングを変えた場合、再度テザーベルトを調節しなおしてください。



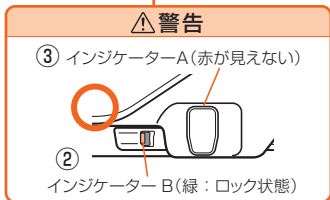
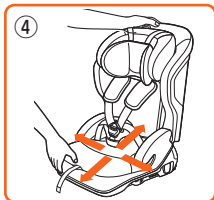
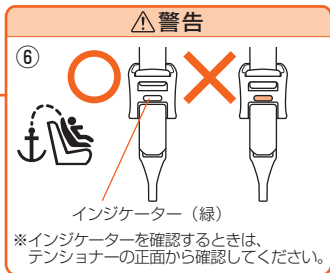
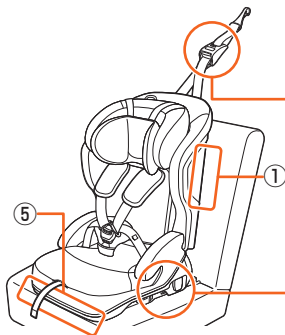
取り付け完了チェックのしかた



取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- ① 車両座席の背もたれとチャイルドシートの間になきすき間がないこと。
 - ② コネクター解除ボタンのインジケーター B が「緑色」になっていること。
 - ③ コネクター調節レバーのインジケーター A の「赤色」が見えなくなっていること。
 - ④ チャイルドシートを持ち、前後左右にゆすり、しっかり取り付けられていること。
 - ⑤ チャイルドシートの左右が車両座席と平行になっていること。(ISOFIX コネクターが片側のみ極端に押し込まれていないこと。)
 - ⑥ テンショナーのインジケーターが「緑色」になっていること。
- ご不明な点は当社コンシューマープラザへお問い合わせください。

チャイルドモードの使いかた



取り付け完了チェックのしかた

ワンポイント



- **車両座席のひじかけなどに隠れてインジケーターが目視で確認できない場合**
ISOFIX 取付金具へISOFIX コネクターを差し込み、左右のISOFIX コネクターが「カチッ」と音がしてロックされたことを確認してください。その後、「取り付け完了チェックのしかた」①④⑤⑥の完了チェックを行ってください。
- **車両座席の形状によってコネクター調節レバーの操作ができない場合**
ISOFIX コネクターの長さを車両背もたれに接するよう調節した上で、ISOFIX 取付金具へISOFIX コネクターを差し込み、左右のISOFIX コネクターが「カチッ」と音がしてロックされたことを確認してください。その後、「取り付け完了チェックのしかた」①④⑤⑥の完了チェックを行ってください。

車からの取りはずしかた

- ① テンショナーの解除ボタンを押しながらテザーベルトを引き、ゆるめる。
- ② トップテザーアンカーからトップテザーフックをはずす。



- ① 左右のコネクター解除ボタンを2本の指で押して、ISOFIX 取付金具から ISOFIX コネクターをはずす。
- ② インジケーター B がロック解除状態（「緑色」の表示が見えない状態）になっていることを確認する。



ワンポイント

ISOFIX コネクターの解除が固いときは

ISOFIX コネクターがきちんと取り付けられていると、車両座席の反発力により、ISOFIX コネクターの解除が固くなる場合があります。固い場合は、以下の方法で片側ずつ車両座席からの反発を押し戻し、解除を行ってください。

- ① 座面を車両背もたれに押し込みながらコネクター調節レバーを引き、ISOFIX コネクターを伸ばす。
- ② コネクター解除ボタンを押す。



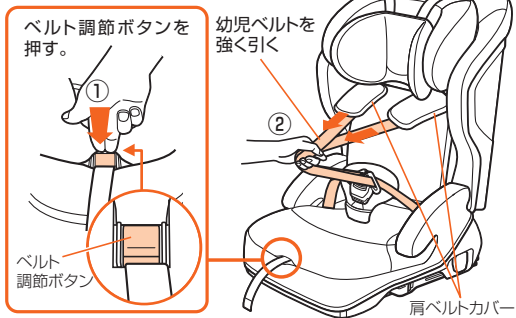
チャイルドモードの使いかた

幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた

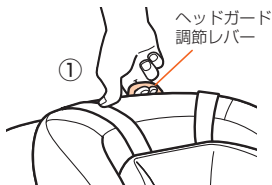
お子さまの成長にあわせ、幼児ベルトとヘッドガードの位置を変えて使用します。

幼児ベルトとヘッドガードの位置は、11段階に調節することができます。

- 1** ① ベルト調節ボタンの奥側を押しながら、
② 左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。
※ 肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。

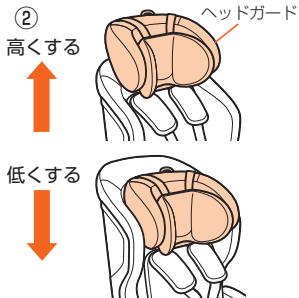


- 2** ① ヘッドガード調節レバーを引きながら、高さを調節する。
 ② 適切な位置でヘッドガード調節レバーから手を離す。
 ③ ヘッドガードを上下に動かし、固定されていることを確認する。



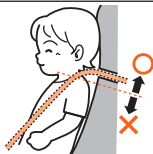
ワンポイント

調節の際はヘッドガード調節レバーを確実に引き上げたまま行ってください。



幼児肩ベルト位置の目安

幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩よりやや高い位置にくるようにヘッドガードの高さを調節してください。



チャイルドモードの使いかた



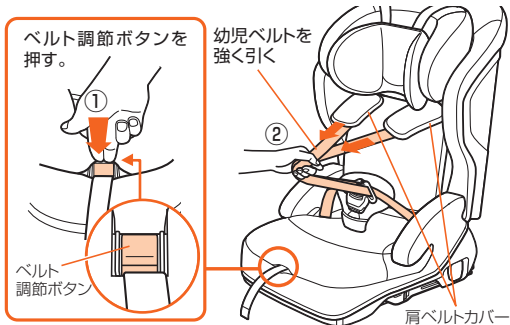
幼児肩ベルト位置を調節すると、幼児ベルトが締まったり、ゆるんだりします。お子さまを幼児ベルトで拘束した後は、幼児肩ベルト位置を調節しないでください。



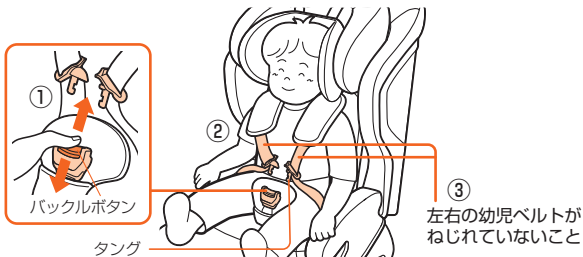
幼児肩ベルト位置を調節時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分にご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。

お子さまの座らせかた

- 1** ① ベルト調節ボタンの奥側を押しながら、
② 左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。
※ 肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



- 2** ① バックルボタンを押し、タングをはすす。
② お子さまを深く座らせ、腕を左右の幼児ベルトに通す。
③ 左右の幼児ベルトがねじれていないか確認する。

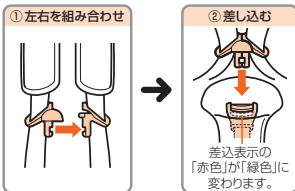


警告

- お子さまを乗せるときは、厚手の上着は脱がせてください。しっかりと拘束できない場合があります。
- お子さまを座らせるときには、下図のような座らせかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



- 3**
- ① 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込む。
 - ② バックルのインジケーターが「緑色」になっていることを確認する。



※イラストはジョイトリップアドバンスプラス/プレミアムのもの。

危険

- チャイルドシートのタングがしっかりバックルに差し込まれ、表示が緑色に変わっていることを確認してください。
- タングをバックルに差し込んででもインジケーターが「緑色」に変わらないときは、ご使用にならないでください。

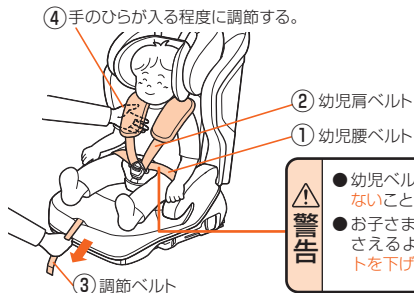
ワンポイント



- バックルのボタンは、お子さまの力でははずれないように固くしてあります。
- 左右のタングを組み合わせないと、バックルに差し込めません。

お子さまの座らせかた

- 4**
- ① 幼児腰ベルトは、骨盤をしっかりと押さえるように、低く下げる。
 - ② 幼児肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
※ 肩ベルト高さ調節は33ページ「幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた」を参照。
 - ③ 調節ベルトを手前に引き、
 - ④ お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。



警告

- 幼児ベルトにねじれやたるみがないこと。
- お子さまの骨盤をしっかりと押さえるように、必ず幼児腰ベルトを下げること。

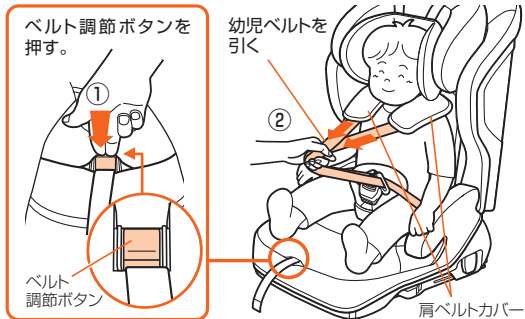


警告

必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き窒息するおそれがあります。

お子さまのおろしかた

- ①ベルト調節ボタンの奥側を押しながら、
 - ②左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。
- ※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。
- ③バックルボタンを押し、タングをはずす。
 - ④お子さまをおろす。



ジュニアモードへの変更のしかた

ジュニアモードでは、以下の3通りの取り付けかたができます。

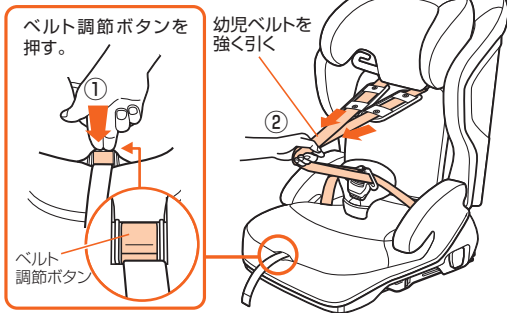
お子さまの身長 100cm～150cm まで						
お子さまの拘束方法	幼児ベルトを収納して、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。					
車両への固定方法	A		B		C	
	ISOFIX コネクター、トップテザーと車両シートベルトで取り付けます。		ISOFIX コネクターと車両シートベルトで取り付けます。		お子さまを拘束している車両シートベルトを使用して車両座席に固定しません。	
	車両シートベルト	使用	車両シートベルト	使用	車両シートベルト	使用
	トップテザー	使用	トップテザー	不使用	トップテザー	不使用
ISOFIX コネクター	使用	ISOFIX コネクター	使用	ISOFIX コネクター	不使用	
変更のしかた	下記の1～10の手順で操作を行ってください。					
				トップテザー、テザーベルトの収納を行ってください。 (43ページ「BまたはCの変更のしかた」参照)		ISOFIX コネクターを収納してください。 (44ページ「Cの変更のしかた」参照)

変更のしかた

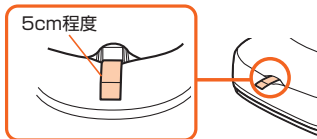
- 1 ヘッドクッションを取りはずす。
(55ページ「ヘッドクッションの取りはずしと取り付け」参照)
- 2 肩ベルトカバーを肩ベルトカバーベースからはずす。
(58ページ「肩ベルトカバーの取りはずしと取り付け」参照)
- 3 腰ベルトカバーをはずす。
(59ページ「腰ベルトカバーの取りはずしと取り付け」参照)
※ジョイトリップ アドバンス プラス/プレミアムのみ

4 幼児ベルトを引き出す。

- ① 座面シートカバー下のベルト調節ボタンの奥側を押しながら、
- ② 左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に強く引き、幼児ベルトが引けなくなるまで引き出す。



5 ヘッドガード調節レバーを引きながら、ヘッドガードを最上段まで引き上げる。調節ベルトの長さが5cm程度になるまで幼児ベルトを強く引き出す。

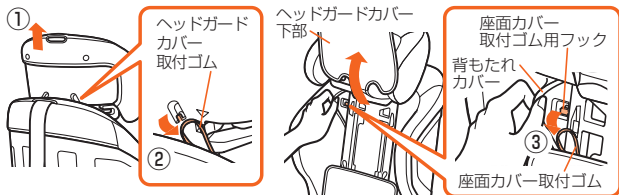


ワンポイント

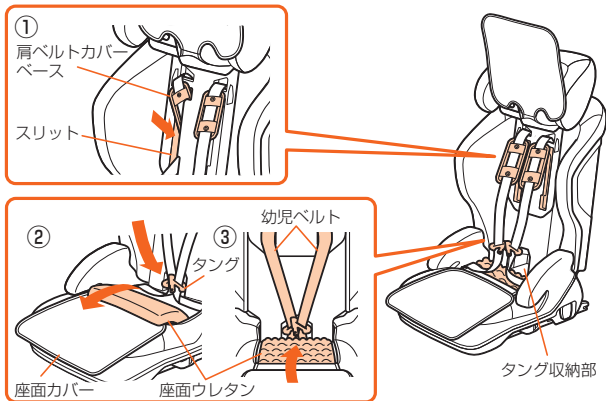
幼児ベルトの長さの状態によっては、ヘッドガードが最上段まで引き上がらない場合があります。その場合は再度幼児ベルトを引き出す操作を行い、ヘッドガードの高さを最上段まで引き上げてください。

ジュニアモードへの変更のしかた

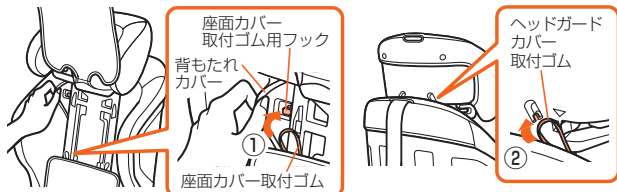
- 6** ① ヘッドガード調節レバーを引きながら、ヘッドガードを最上段まで引き上げる。
② 左右のヘッドガードカバー取付ゴムをはすす。
③ ヘッドガードカバー下部をめくり上げ、左右の座面カバー取付ゴムをはすす。



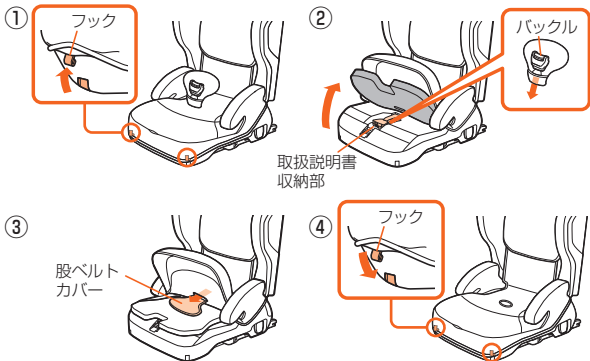
- 7** ① 肩ベルトカバーベースを、背もたれのスリットに収納する。
② 座面カバーと座面ウレタンをめくり、タング収納部にタングを収納する。
③ 幼児ベルトがねじれないようにウレタンを戻す。



- 8** ① 左右の座面カバー取付ゴムを取り付ける。
 ② 左右のヘッドガードカバー取付ゴムを取り付ける。



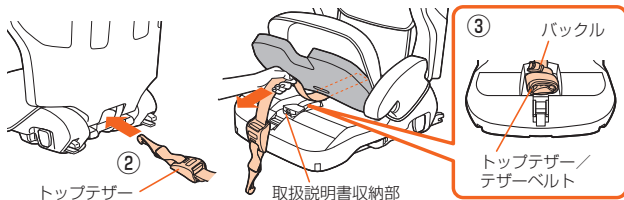
- 9** ① 座面カバー前面の2カ所のフックをはすす。
 ② 座面カバーとウレタンをめくりバックルを下に抜き取扱説明書収納部に収納する。
 ③ 股ベルトカバーを座面カバーの裏側に引き込む。
 ④ 座面カバー前面の2カ所のフックをとめる。



ジュニアモードへの変更のしかた

車両への固定方法BまたはCの変更のしかた

- 10** 固定方法B、Cで使用する際は、トップテザー、テザーベルトの収納を行う。
- ① 座面カバー前面の2カ所のフックをはずす。
 - ② トップテザーを後ろから、座面と背もたれの間を通し、座面カバーとウレタンの下に引き出す。
 - ③ 取扱説明書収納部にテザーベルトを束ねて、バックルと一緒に収納する。



ジュニアモードの使いかた

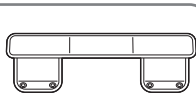
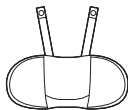
⚠ 注意

取りはずしたヘッドクッション、肩ベルトカバー、腰ベルトカバー（ジョイトリップ アドバンス プラス/プレミアムのみ）を車内に放置しないでください。車内に転がり、運転のさまたげになる可能性があります。（大切に保管し、なくさないようにしてください。）

●ヘッドクッション

●肩ベルトカバー

●腰ベルトカバー／クッションベルト

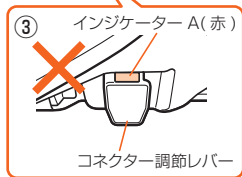
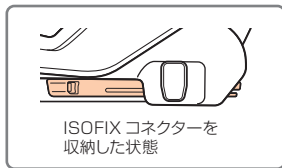
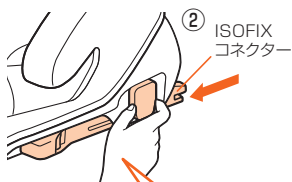
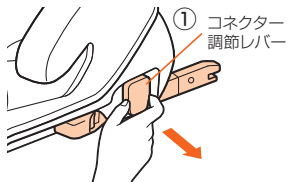


(ジョイトリップ アドバンス プラス/プレミアム)

車両への固定方法Cの変更のしかた

11 固定方法Cで使用する際は、ISOFIXコネクターの収納を行う。

- ① 側面のコネクタ調整レバーを引きながら、
 - ② ISOFIXコネクタを止まるまで収納する。
 - ③ コネクタ調整レバーから手をはなし、インジケータAがロック状態(「赤色」の表示が見えない状態)になっていることを確認する。
- ※ 左右それぞれ作業を行ってください。



取り付け準備



- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。



車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。

- 1 チャイルドモードと同様の手順で取り付け準備をする。
(22ページ「チャイルドモードの使いかた／取り付け準備」参照)

車への取り付けかた



ジュニアモードでは、以下の3通りの取り付けかたができます。

お子さまの身長 100cm～150cmまで			
お子さまの拘束方法	幼児ベルトを収納して、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。		
車両への固定方法	A	B	C
	ISOFIX コネクター、トップテザーと車両シートベルトで取り付けます。	ISOFIX コネクターと車両シートベルトで取り付けます。	お子さまを拘束している車両シートベルトを使用して車両座席に固定します。

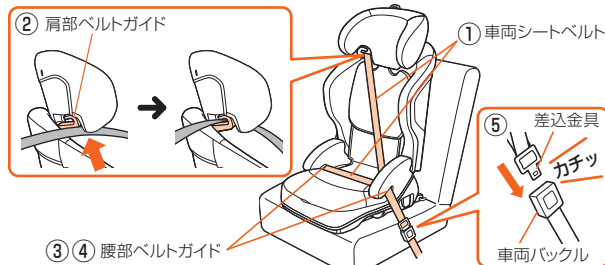
Aでの取り付け方

1 ISOFIX コネクター、トップテザーを取り付ける。
24ページから29ページ「車への取り付けかた」の1から8の手順を行なう。
30ページ、31ページ「取り付け完了チェックのしかた」の確認を行う。

2 車両シートベルトで固定する。
① 車両シートベルトを引き出す。
② 車両シートベルトを肩部ベルトガイドに通す。
③ 車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。
④ 肩ベルトガイドに通した車両シートベルトを車両バックル側の腰部ベルトガイドに通す。
⑤ 「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。



注意 急ブレーキや衝突時に乗員に当たるおそれがありますので、お子さまを座らせていないときでもチャイルドシートを固定してください。



ジュニアモードの使いかた

車への取り付けかた



ISOFIXコネクターを使用することで、車両シートベルトや車両バックルの取り付けの妨げになる場合は、ISOFIXコネクターを使用せず、車両シートベルトだけで取り付けてください。



車両バックルや差込金具が製品本体にあたり車両シートベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。取り付けが不安定な状態では、使用しないでください。ご不明な点は当社コンシューマープラザへお問い合わせください。



Bでの取り付け方

- 1 ISOFIXコネクターを取り付ける。**
24ページから27ページ「車への取り付けかた」の2から5の手順を行なう。
30ページ、31ページ「取り付け完了チェックのしかた」の①～⑤の確認を行う。
- 2 車両シートベルトで固定する。**
(46ページ2の手順「車両シートベルトで固定する」参照)
※ ISOFIXキャップが取り付けの妨げになる場合は、ISOFIXキャップをISOFIX取付金具からはずしてください。

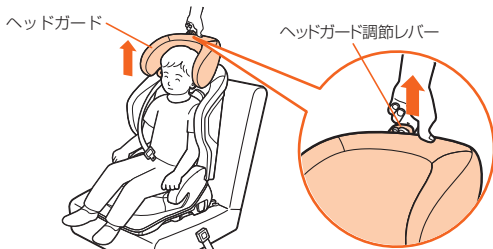
Cでの取り付け方

- 1 ISOFIXコネクターを収納する。**
(44ページ「Cの変更のしかた」参照)
- 2 車両シートベルトで固定する。**
(46ページ2の手順「車両シートベルトで固定する」参照)
※ ISOFIXキャップが取り付けの妨げになる場合は、ISOFIXキャップをISOFIX取付金具からはずしてください。

お子さまの座らせかた



- 1 差込金具を車両バックルからいったんはずし、お子さまを深く座らせ、ヘッドガードの高さをお子さまにあわせて調節します。
(34ページ「幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた」2の手順参照)



ヘッドガード(肩部ベルトガイド)の高さの目安

肩部ベルトガイドの位置は、お子さまの肩の高さよりも、少し上にしてください。



下がりすぎている



適切な高さ



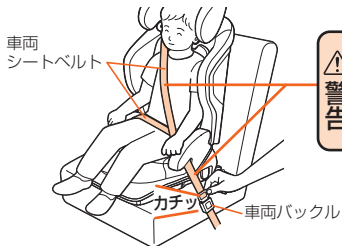
上がりすぎている



肩部ベルトガイドは、車両シートベルト(肩部)がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、肩部ベルトガイドが低くなったときには、ヘッドガードの高さを調節し直してください。

お子さまの座らせかた

- ① 車両シートベルトを引き出す。
- ② 車両シートベルトを肩部ベルトガイドに通す。
- ③ 車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。
- ④ 肩ベルトガイドに通した車両シートベルトを車両バックル側の腰部ベルトガイドに通す。
- ⑤ 「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。



警告

- 車両シートベルトにねじれやたるみがないこと。
- 車両シートベルト(腰部)は必ずお子さまの骨盤を押さえるようにすること。

- 3 車両シートベルトがたるんでいる場合は、車両シートベルト(肩部)を上へ引いて張り具合を調節する。



警告

- 本製品は、車両シートベルトを締めていない状態では不安定です。保護者のかたの補助なしでお子さまが1人で乗り降りすると、車両座席からすれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者のかたが乗せおろしをしてください。
- お子さまを下図のように座らせると、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険です。

- のけぞる、前かがみになる。



- お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。



- 中腰・正座・立てひざなどをする。



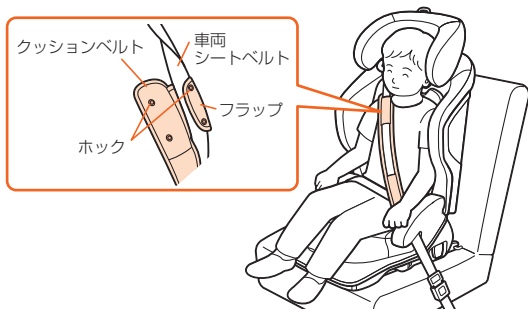
- お子さまの腕は、必ず車両シートベルトの上になるようにしてください。



クッションベルトの使いかた(ジョイトリップアドバンス プラス/プレミアムのみ)

「ジュニアモードへの変更のしかた」で取りはずした腰ベルトカバーを準備してください。腰ベルトカバーはジュニアモードでは「クッションベルト」としてご使用いただくことができます。

- ① 車両シートベルトにクッションベルトを巻き付けて、上下各2箇所ของホックで固定する。その際、下図のように、クッションベルトのフラップが車両シートベルトの上にくるようにホックで留めます。
- ② 49ページ「お子さまの座らせかた」のとおり、お子さまを座らせて、車両シートベルトを締める。



取り付け完了チェックのしかた

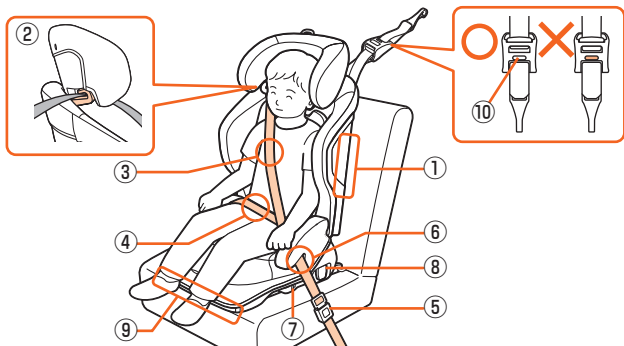
お子さまを座らせ、車両シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。

車両への取り付け方法 A は①～⑩を確認

車両への取り付け方法 B は①～⑨を確認

車両への取り付け方法 C は①～⑥を確認

- ① 車両座席の背もたれとチャイルドシートの間になきすき間がないこと。
- ② 車両シートベルトが肩部ベルトガイドを通り、お子さまの首を圧迫していないこと。また、肩からはずれていないこと。
- ③ 車両シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれやたるみがないこと。
- ④ 車両シートベルトがお子さまの骨盤を押さえていること。
- ⑤ 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- ⑥ 車両シートベルトが左右の腰部ベルトガイドを通っていること。
- ⑦ コネクター解除ボタンのインジケータ B が「緑色」になっていること。
- ⑧ コネクター調節レバーのインジケータ A の「赤色」が見えなくなっていること。
- ⑨ 本体左右が車両座席と平行になっていること。(ISOFIX コネクターが片側のみ極端に押し込まれていないこと。)
- ⑩ テンショナーのインジケータが「緑色」になっていること。



チャイルドモードへの戻しかた

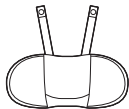
「ジュニアモードへの変更のしかた」で取りはずした部品を準備してください。

チャイルドモードへの戻しかたは、(39ページから44ページ「ジュニアモードへの変更のしかた」の逆の手順を行ってください。)



- 「ジュニアモードへの変更のしかた」で取りはずしたヘッドクッション、肩ベルトカバー、腰ベルトカバー(ジョイトリップ アドバンス プラス/プレミアムのみ)がすべて取り付けられているか確認してください。
- トップテザーとバックルが収納されていないことを確認してください。

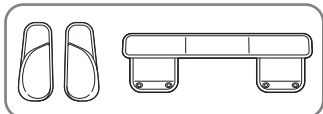
● ヘッドクッション



● 肩ベルトカバー



● 腰ベルトカバー/クッションベルト

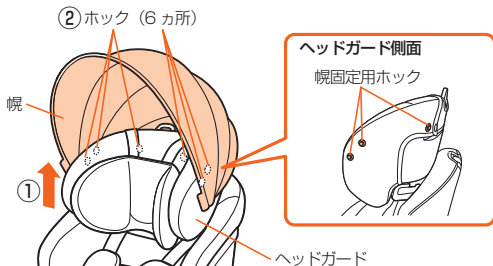


(ジョイトリップ アドバンス プラス/プレミアム)

※ 車両への取り付け方法 A で取り付けられた場合は、トップテザーを戻す手順は必要ありません。

幌の使いかた (ジョイトリップ アドバンス プレミアムのみ)

- ① ヘッドガードを引き上げる。
(33ページ「幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた」参照)
- ② ヘッドガード裏側2カ所と側面左右に各2カ所にある計6カ所のホックで、幌の取りはずしと取り付けを行う。





- 幌は誤った取り扱いをすると、事故などの衝突時にお子さまに接触する場合があります。危険です。
- 全てのホックをヘッドガードカバーに必ず取り付けてください。ホックが外れた状態では絶対に使用しないでください。



- チャイルドシートを持ち運ぶときは、幌を持たないでください。製品が破損する原因となります。
- 幌におもちゃやサンシェードなどを取り付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。

※ 幌が車の内装に干渉する場合は、幌を使用しないでください。

ヘッドクッションの使いかた

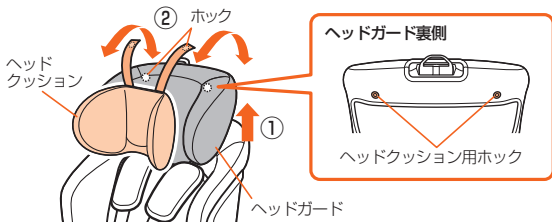
チャイルドモード	ジュニアモード
<p>身長 76cm ~ 105cm まで かつ 月齢 15 ヶ月以上 (※体重 20kg を超えるお子さまは、使用できません。)</p>  <p>警告</p> <p>必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。</p> 	<p>使用禁止</p>

危険 ヘッドクッションは、誤った取り扱いをすると本来の機能を果たさず危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。

注意 はずしたヘッドクッションを車内に放置しないでください。車内に転がり、運転のさまたげになる可能性があります。

ヘッドクッションの取りはずしと取り付け

- ① ヘッドガードを引き上げる。
(33ページ「幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた」参照)
- ② ヘッドガード裏側にある2カ所のホックで、ヘッドクッションの取りはずしと取り付けを行う。



カバーの取りはずしかた・取り付けかた つづく ➔

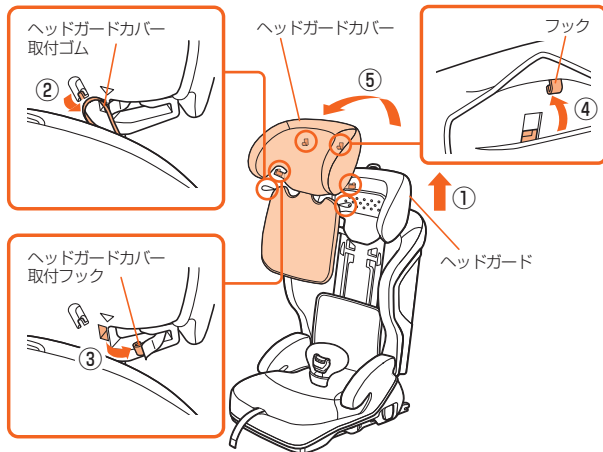
ヘッドガードカバーの取りはずしと取り付け

- ① ヘッドガードを最上段まで引き上げる。
(33ページ「幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた」参照)
- ② ヘッドガード背面のヘッドガードカバー取付ゴム(左右各1カ所)をははずす。
- ③ ヘッドガード背面のヘッドガードカバー取付フック(左右各1カ所)をははずす。
※三角形の矢印が目印です。
- ④ ヘッドガードカバー上部裏のフック(2カ所)をははずす。
- ⑤ ヘッドガードカバーを上から取りはずす。

※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。

ワンポイント

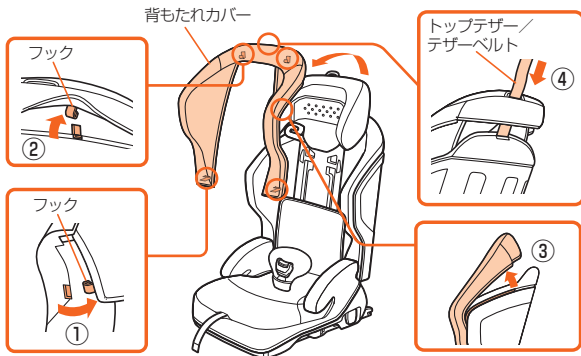
幼児ベルトの長さの状態によっては、ヘッドガードが最上段まで引き上がらない場合があります。その場合は再度幼児ベルトを引き出す操作を行い、ヘッドガードの高さを最上段まで引き上げてください。



カバーの取りはずしかた・取り付けかた

背もたれカバーの取りはずしと取り付け

- ① 背もたれカバー下部のフック(左右各1カ所)をはずす。
 - ② 背もたれカバー上部のフック2カ所をはずす。
 - ③ 背もたれカバー側面を本体背もたれ側面の溝からはずす。
 - ④ 背もたれカバー上部の穴からトップテザー、テザーベルトを引き抜く。
- ※取り付けは、取りはずしの逆の順序です。



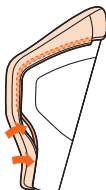
注意

使用する際は、必ず背もたれのカバーを取り付け、本体側面の溝に差し込んでください。

ワンポイント

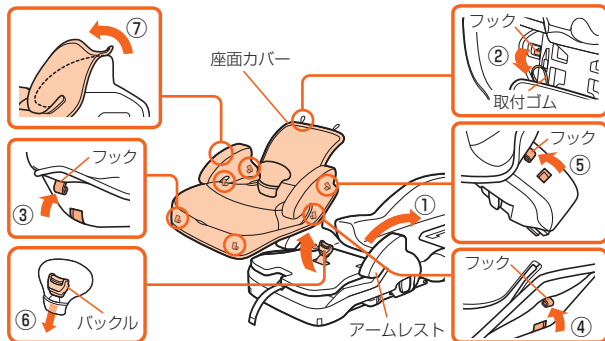


背もたれカバーを取り付けるときは、下の方から順に本体側面の溝に差し込み、最後に全体を整えてください。



座面カバーの取りはずしと取り付け

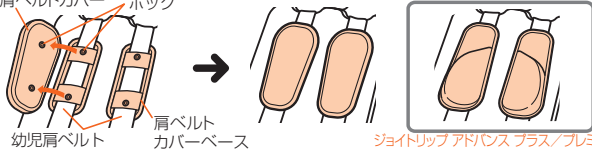
- ① 背もたれと座面をはずす。(60ページ「収納モードへの変更のしかた」1の手順を参照)
 - ② 座面カバー取付ゴムをははずす。
 - ③ 座面カバーの前側のフック2カ所をははずす。
 - ④ 座面カバーの側面のフック(左右各1カ所)をははずす。
 - ⑤ アームレスト後部のフック(左右各1カ所)をははずす。
 - ⑥ バックルを抜く。
 - ⑦ アームレスト部分を抜き、座面カバーを取りはずす。
- ※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。



肩ベルトカバーの取りはずしと取り付け

フック(2カ所)の取りはずし、または取り付けをする。

肩ベルトカバー フック

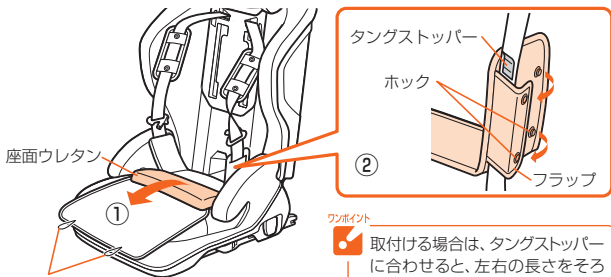


ジョイントリップ アドバンス プラス/プレミアム

カバーの取りはずしかた・取り付けかた

腰ベルトカバーの取りはずしと取り付け (ジョイトリップ アドバンス プラス / プレミアム)

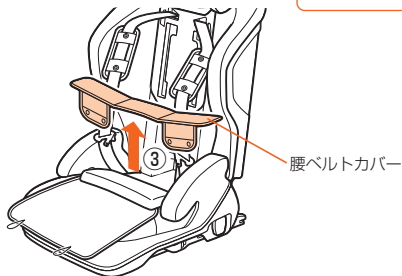
- ① 左右の座面カバー取付ゴムをはずしウレタンをめくる。
 - ② 腰ベルトカバーのホック (左右各2カ所) をはずし、腰ベルトに巻きついている左右のフラップをはずす。
 - ③ 腰ベルトカバーを取りはずす。
- ※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。



ワンポイント

- 取付ける場合は、タンGSTOPパーに合わせると、左右の長さをそろえて取り付けることができます。

座面カバー取付ゴム

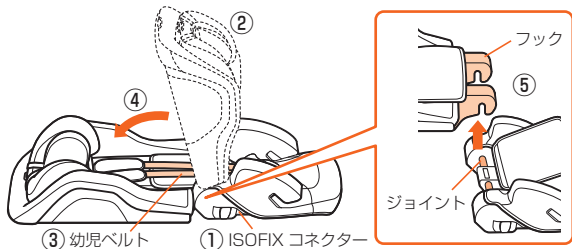


腰ベルトカバー

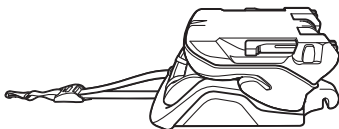
収納モードへの変更のしかた



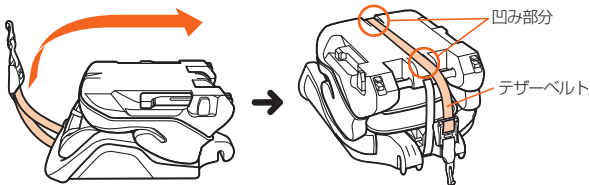
- ① ISOFIX コネクターを収納する。(44ページ「Cの変更のしかた」参照)
- ② ヘッドガードを一番下まで下げる。
- ③ 幼児ベルトをゆるめる。(33ページ「幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた」1の手順参照)
- ④ 背もたれを座面と水平になるまで倒し、
- ⑤ 背もたれを持ち上げて背もたれのフックを座面のジョイントからはずす。



- ② 背もたれの上に座面を図のように置く。

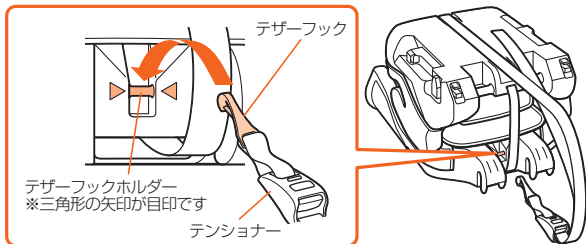


- ③ 座面前後の凹み部分に合わせてテザーベルトをかける。



収納モードへの変更のしかた

- 4 テザーフックを、背もたれ下のテザーフックホルダーに引っかける。

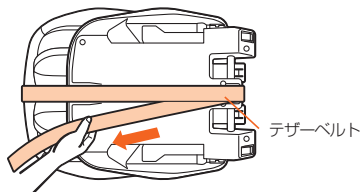


ワンポイント



このとき、テンショナーが表裏逆になりますが、
使用上は問題ありません。

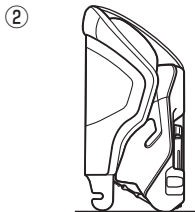
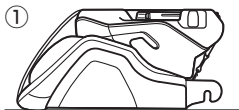
- 5 テザーベルトを締め付ける。
※本体を持ち上げた際にぐらつかない程度に締め付けてください。



収納モードでの保管のしかた

収納モードでの保管方法

- ① 寝かせて保管する場合は、背もたれを下にしてください。
 - ② 立てて保管する場合は、ジョイント部を下にしてください。
- ※ 収納モードで長期間保管すると、ヘッドガード、背もたれ、座面などの縫製品に凹みやシワなどの跡が残る場合があります。



- 収納モードで車などで運ぶ場合は、チャイルドシートが転倒したり移動をしないように注意してください。転倒や移動したチャイルドシートにぶつかる可能性があります。
- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。
- チャイルドシートに荷物を重ねた状態で保管をしないでください。故障や変形の原因となります。

収納モードでの持ち運びかた

収納モードで持ち運ぶときは、チャイルドシートを図のように両手で持ち、抱えます。その際にチャイルドシートがぐらつかないようにテザーベルトで固定されていることと、ISOFIXコネクターが完全に収納されていることを確認してください。



注意

- 床などに置く場合は、破損しないように静かに置いてください。落としたり、乱暴に置くと破損し故障や変形の原因となります。
- 土の上など汚れた場所には置かないでください。故障や変形の原因となります。
- 持ち運ぶ場合は、テザーベルトで固定されてぐらつかないことを確認してください。

お手入れのしかた

シートカバーなど縫製品の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。

- 背もたれカバーに縫製されている洗濯ラベルに従い洗濯してください。
- 洗濯機をご使用の際は、ほつれや傷みの原因となるので洗濯用ネットに入れて洗濯してください。
- 水、またはぬるま湯で洗濯機の弱水流または手洗いしてください。
- 漂白剤は使用しないでください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- 横型洗濯機（洗濯槽が横、または斜めを向いている）をご使用の場合は、水量が少なくなりすぎないように注意してください。
- 製品の特性上、色あせすることがあります。
- 洗濯の際は、他の衣料品や色の薄いものと区別されることをおすすめします。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。
- アイロン掛けはしないでください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
- ヘッドクッションを洗濯するときは、頭部左右に入っているクッションを取り外してください。（ジョイトリップアドバンス プラス/プレミアムのみ）

幌のお手入れのしかた（ジョイトリップ アドバンス プレミアムのみ）

- 幌は液中につけず、洗剤を入れた水、またはぬるま湯につけたスポンジなどを使用して汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水分を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。
- 製品の特性上、若干色あせすることがあります。

本体、幼児ベルトのお手入れのしかた

通常は固くしぼった布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

ウレタンについて

- シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがありますが、品質上問題なく、安心してお使いいただけます。
- 座面のウレタンクッション材は洗濯できません。



警告

中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

保管・廃棄のしかた

保管のしかた

本 体

長期間使用しないときは、車からおろし、直射日光が当たらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、座面カバー下の取扱説明書収納部に保管してください。

廃棄のしかた

- お住まいの各自治体の規程に従い処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどはずして、廃棄してください。

製品を正しく安全にお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。

下記のホームページをご覧ください。

www.combi.co.jp/soudan/after/safetyinfo.html

『標準使用期間』について

本製品の『標準使用期間』は「新規購入後10年」です。

標準使用期間を経過した場合、部品の経年劣化により、本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります。この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

品質保証書 コンビ チャイルドシート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマーブラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製品名	ロットNo. (ヘッドガード背面のシールをご覧ください)	保証期間 お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
お客様	お名前	お買い上げ日 年 月 日
	ご住所 〒	TEL
販売店	店名	TEL
	住所	

修理メモ

保証規定

1. 1度で使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
2. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマーブラザにお送りください。
3. 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
 - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
 - (b) シートカバーなど、縫製部品の傷やゆずれ。
 - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
 - (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (f) 本書のご提示がない場合。
 - (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
 - (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
4. 衝突事故など、7度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
6. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
- 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- レシード(領収書)を本書と一緒に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマーブラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 品質保証書にご記入いただいた個人情報、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

Combi

コンビ
ジョイントリップ
アドバンス

コンビ株式会社

■ ホームページ
■ オンラインストア(部品購入窓口)

combi.co.jp
combi.co.jp/store

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)
受付時間：9:30～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)
〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271
TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当
受付時間：10:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)
〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16
TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

*コンシューマープラザホームページ combi.co.jp/soudan